

平成27年度行政改革の主な取組みについて（予算反映分）

1 歳入の確保（A）

健全な財政運営の維持

（単位：千円）

推進項目	説 明	金額
補助金・負担金の適性化	・コミュニティ助成事業助成金（一般） （町会・自治会貸与用折りたたみ式テント購入にあたり自治総合センターの助成金を活用する。）	2,500
	・通学路防犯設備整備補助金 （通学路の見守り体制強化のため補助金を活用し、通学路に防犯カメラを設置する。）	1,900
	・学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業補助金 （通学路の見守り体制強化のため補助金を活用し、通学路見守り活動指導員謝礼や備品の整備を図る。）	229
	・多摩・島しょスポーツ振興事業助成金 （ジュニアスポーツ体験・育成事業委託料）	1,500
合 計	4 件	6,129

2 歳出の抑制（B）

健全な財政運営の維持

（単位：千円）

推進項目	説 明	金額
給与の適正化	・55歳昇給抑制（対象者7人）	274
経常経費の節減	・子ども体験塾 （事業費を青梅市、福生市、羽村市3市で協議し、平成26年度負担金予算の4%の削減を図る。）	17
小 計	2 件	291

効果・効率的な事務事業の実施

（単位：千円）

推進項目	説 明	金額
費用対効果を重視した行政経営の推進	・環境マネジメントシステム監査業務の見直し （環境マネジメントシステム（F-e）の構築にあたり、監査業務の一部を担当課にて実施する。）	246
小 計	1 件	246
合 計	3 件	537

平成27年度予算反映分

（A） + （B） = 7 件

6,666

3 その他の主な取組み

健全な財政運営の維持

推進項目	説 明
公共施設等の計画的な更新と適正化	・ 公共施設等総合管理計画策定 (公共施設等総合管理計画を策定し、施設等の計画的な更新等について方針を定め、社会インフラを含めた公共施設の適正化を図る。)
新公会計制度の導入	・ 新公会計関連システム導入等事業 (新公会計制度が平成28年度から導入されることに伴い、現在の財務会計システムを更新し、各システム間の連携を図る。)
経費の節減	・ 工事監査対象工事の見直し (工事監査対象工事を予算額1億円以上から5千万円以上に拡大し、工事の適正化を図る。)

効果・効率的な事務事業の実施

推進項目	説 明
行政サービスの向上	・ 昭島・福生・羽村観光圏活性化事業 (ツアーやイベントの企画・運営を通して、観光資源の発掘等を図り、継続的な広域連携・地域活性化による交流人口の獲得につなげていく。)
	・ 子育てモバイルサービス事業 (日程調整が難しい子どもの予防接種のスケジュールを自動調整し、登録をした保護者等に個別に日程をお知らせするシステムを導入する。)
	・ 若年層に向けた健康診査事業 (若年層(30歳、35歳)の方を対象とした健診事業(各種測定、採血、尿検査等)を市内の指定医療機関で実施する。)
	・ 病児保育事業 (病気で集団保育や家庭での保育が困難な児童(小学3年生以下)を医療機関に併設された専用室で保育を行い、保護者の子育てと就労の両立を支援する。)
	・ 小規模保育事業 (定員19人以下の保育園を小規模保育事業として市が認可し、保育園に通う児童の保護者の利用者負担(保育料)の公平を図る。)
	・ 利用者支援事業 (市役所窓口において、保護者が保育所等の施設、地域子ども・子育て支援事業を円滑に利用できるような相談、情報提供等の支援を行う。)
	・ 産前・産後支援ヘルパー事業 (育児、家事等の支援を必要とする妊産婦のいる世帯に対し、家事等の援助を行うヘルパーを派遣する。)
	・ 新都市連絡協議会スポーツ交流事業 (構成市の子ども達の間でスポーツ交流を図ることで、3市の連携をより一層強化し、またジュニア育成の一環としてのスポーツ体験の機会を提供する。)